第3回ひょうご高校生 環境・未来リーダー育成プロジェクト (3~4日目) 実施報告

日 時: 令和4年12月17日(土) 10:00 ~18日(日) 16:00

場 所:12月17日(土)現地視察(北摂・六甲・淡路)

12月18日(日)兵庫県立工業技術センター セミナー室

参加者: 12/17 26名(3名欠席)、12/18 25名(4名欠席) 宿泊場所: ホテルウィングインターナショナル神戸新長田駅前

内容:

■12月17日(土)10:00~17:30 現地視察

① 北摂コース 地域循環共生圏 (エネルギー、資源の地域循環)

参加人数:10名

視察内容:神戸バイオマスセンター(木質バイオマス活用)の視察

県有環境林の伐採状況、荒廃地の有効活用、ソーラーシェアリングの普及状況と課

題(説明:兵庫県環境政策課 満月副課長)

国崎クリーンセンターにおけるごみ処理施設の視察































② 六甲コース バイオガス利用と地産地消(食とエネルギーの循環)

参加人数:5名

視察内容: 弓削牧場のバイオガス化施設の視察 六甲川水車新田小水力発電の視察

東灘処理場(神戸バイオガス活用事業、循環型肥料「こうべ再生リン」)





























③ 淡路コース 再エネと地域貢献 (メガソーラーと地域課題解決型発電所)

参加人数:11名

視察内容:・エネルギーパーク洲本、地域再生可能エネルギー活用推進条例、あわじ環境未来島 構想等の説明

- ・淡路ソーラーファームの視察
- ・龍谷フロートソーラーパーク洲本の視察(説明:洲本市企画情報部 高橋様)
- 淡路貴船太陽光発電所
- •淡路夢舞台 (脱炭素先行地域説明)





























■12月17日(土) 19:30~21:30 ワークショップ(ホテル会議室)

- ・現地視察で感じたこと、印象に残った事等の共有
- ・発表テーマの洗い出し、グループ決め







■12月18日(日)9:00-16:00

【グループワーク】検討内容の確認・発表内容の検討







A: チーム教育改革 岡川颯夏、櫻井ひなた、谷垣歩茉音、貫愛依

消化液やバイオマスボイラーを普及させるためには、人々のマインドを変えないと需要が増えないと考え、そのマインドを変えるための日本教育制度の改革について提案。







B: 再生可能エネルギー促進教育: 山田有里彩、盧凜星

再生可能エネルギーを促進させるための提案。実際には子どもたちがいる施設(教育機関、市民館など)に再生可能エネルギーを積極的に使うなど。







C: 木質バイオマス: 戸坂心優、原田多葵

木質バイオマスを知ってもらう、使ってもらう提案。







D: お金ちゃりちゃり: 小島一心、木岡映那、山本智咲

再生可能エネルギーを普及するために、環境に配慮しようとした人に対して費用の負担が最も大きな足かせになっていると考え、その資金を作り出す方法を提案。







E: ソーラーシェアリング: 高田莉沙、中本早紀、廣瀬環、三好彩夏葉、矢野優奈 ソーラーシェアリングが普及することを目標に、それを広めるためにはどうすべきかを提案。







F: ハイテクいなか: 今田リアン優斗、末永晴規、平良絃衣、袴谷奎介 里山の資源を活用して若い人たちによる地域の活性化をゴールに提案。







G:森林共生・里山管理①:赤浦由侑、(明田季子)、大松優希、隅田悠月 森林関係・里山管理②:今関香、小林あこ

- ・里山保全 ・・・地域内循環で森林と里山に価値をもたらすことを目標に提案
- ・生物多様性・・・森林管理は生物にもメリットあると考え、人と動物が共存している世界を理想に、動物と人との適度な距離を作る方法についての提案







(※当日欠席であった、高野泰一、木波本陸、マティーソン怜マーティンは後日調整)

【主な感想】

く現地視察>

- ・神戸バイオマスセンターが個人的に1番興味のある話が聞けました。里山の保全や地域内循環について詳しく知れてよかったと思います。学校でも里山づくりに励んでいるので参考になる事が沢山ありました。(北摂コース)
- ・バイオマスボイラーのお話で、オーストリアがバイオマスボイラーにおいて先進国であることを知らなかったし、自分が住んでいる兵庫県がバイオマスボイラーを広めようとする取り組みの拠点となることに驚きました。この視察に参加しなかったら知ることが無かっただろうなと思いました。また、豊岡さんのお話が1番印象に残っていて、自分が教育やマスコミ、日本と外国の違いに興味があるっていうこともあってとても興味深かったです。(北摂コース)
- ・下水処理場では、たくさんの勿体無い部分を捨てないために試行錯誤がされていてほとんど無駄がなかった。自分では全く知らない事ばかりだったのでもっとアピールしたらたくさんの人が 興味を持てると思いました。(六甲コース)
- ・環境にいい物事がなぜこんなにも進んでないんだろうといつも疑問に思っていました。しかし、この視察を通してその難しさについて理解することができました。コストが高かったり、不安があったり、様々な理由で難しんだなと思いました。(淡路コース)

くグループワーク>

- ・ディスカッションではよくあることだと思いますが、意見がいっぱい出るからこそ目標にたどり着くまでの過程で話が枝分かれしてしまってわけがわからなくなってしまったり、考えてることをまとめるときに的確な日本語が出てこなかったり、使えてなかったりして行き詰まってしまったので少し大変でした。でもそこが楽しいとこでもあるのでいい発表ができるように頑張りたいと思います。
- ・しっかりグループで内容を決め、課題解決のため、意見を出し合いながら積極的に、話し合えた ので、非常によかった。内容的には面白いものになっていると思うので、このまま話し合いを続 けて、より良いものにしていきたいと思う。
- ・色々な観点から 2050 年後の未来を考えるのでみんなの方向性を知れて面白かった。自分では思いつきもしないようなアイデアがたくさんあって有意義な時間だった。